

# 早く正義の合体ロボを

## 戦争法廃止へ

### 今言わなければ

去年8月、「赤旗」のインタビューの時「想像できますか？ 渋谷のスクランブル交差点やパリのエッフェル塔に爆弾が落とされることを……」。自分でも飛躍したイメージだと思いつきながら、集団的自衛権を認める危険のインパクトを伝えたくて話しました。それがついにパリが襲撃されたではありませんか。

いま、フランスを訪  
女優  
毬谷 友子さん



1960年東京生まれ。宝塚歌劇団出身。父・矢野静一作の一人芝居「弥々」をライヴワークとし舞台を中心に活動。野田秀樹作「障子の国のティンカーベル」他。現・武蔵野美術大学空間演出デザイン科講師。

脱した国。だから、テロの標的にされないというのです。

#### 攻めない日本に

日本は反対に、戦争法を作った集団的自衛権を認めました。早くアメリカと手を切り、カナダはIS（イスラム国）への空爆から離

国を攻めない国に。8月30日、国会包囲行動に私も参加しました。民主党代表の岡田さんや共産党委員長の志位さんたちが手を取り合って、「正義の合体ロボのように野党が

たとえ一瞬でも合体したらいいのに」と心から願いました。それが9月19日！

戦争法可決の日に志位さんが「だったら、みんなで手を組もう」と思っています。もう「奇跡」でしたね。支持政党はないですが、そう思いました。自分の不利益やリスクを重々承知の上で、最近どこの選挙でも議席を伸ばしている共産党が言っている。有難いことです。

「9」を着る自由  
私が着ているのは手描きの「nogprayer」Tシャツです。ラジオDJのピーター・バラカンさんが、9条のTシャツを着ていたことを理由に警官に呼び止められたと聞いて、

描き始めました。「9」のTシャツを着る自由もないなんてあり得ないと思ったからです。最近「9条」だけでなく憲法全体が危ないと感じています。去年の総選挙後、安倍首相は改憲に努力すると公言しました。秘密保護法に続いて共謀罪を作ろうとしている。実現したら、安倍政権は倒せないでしょう。そうなる前に、なんとか倒してほしい。

「国民連合政府」という名前は怖そう。「合体JAPAN」なんてダメかしら。新しい政府は、平和に、平凡に、安全に暮らしたいと願うたくさんの人々の、最後の砦（とりで）なのです。

聞き手 田村三香子  
写真 佐藤 光信